



発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】

『夢や出会いを大切に』

人の夢と書く「夢（はかな）い」とは、「人は夢のそばにたたずんでいるだけでは、あっけなく夢まぼろしに終わってしまう」こと。「夢中」とは、「人が夢の中に入って我を忘れるぐらい熱中する」こと。夢中にならないと夢は儚く終わってしまいます。

「夢は見るものではなく、叶えるもの」であり、そういう夢を見つけて、前向きに生活している人の姿は輝いて見えます。夢や目標を実現していく過程で様々な困難にぶつかろうとも、そこにはやり甲斐があり、へこたれない新たな自分を発見するものです。

そして、確かな夢や目標があればこそ、それを追い求めていくうちに、回り回って「人は会おうべき人とは必ず会おう。それも一瞬遅からず早からず」師と思える人にたどり着くものです。その出会いの素晴らしさに感謝しつつ、まずは師に追いつく努力をしながら、人は成長していくものだと思います。

また、夢や目標があれば長続きします。辛抱できます。無理が効きます。そうやって、一つ一つのことを積み重ねていくことが、夢を実現するただ一つの道であり、ずっと続けてきたからこそ今があることに気づいてほしい。苦勞が苦勞でなくなったとき、人は本物になるのだと思います。

師や仲間と苦樂を共にし、助言をもらいながら、夢に向かって熱中している自分を思い浮かべると、「人生は誰と会おうか」、自分の未来が楽しみになってきます。

「一期一会」という言葉がありますが、「一生に一度しかない出会い」を意味します。千利休の弟子である山上宗二が、茶会は毎回、一生に一度だという思いをこめて、誠心誠意、真剣に行うべきことを説いたとされます。師との出会いと少しニュアンスが違って、思いがけない運命的な出会いが人生には必ず一回はある。それ故に、人との出会いを大切に、その瞬間がいつ訪れるのかを楽しみにしながら、ひた向きに生きていくという風情が感じられます。

我々教師も、生徒・保護者・地域の方々との様々な出会いがあります。特に、生徒へは少なからず影響を与える職業であり、責任とやり甲斐が交錯します。生徒にとって、会おうべき師としての出会いになるのか、一期一会の出会いになるのか、どちらにもなり得るし、そうなるように精進したいものです。夢や目標を持つことの大切さ、出会いの大切さを共感し、後押ししてやれる存在として、生徒たちの成長を見守っていかれたらと思います。

2学年は12月22日（水）から25日（土）の3泊4日の日程で岐阜県白鳥高原へ修学旅行に行ってきました。2日間のスキー研修では、インストラクターの指示に従いながら、初めてのスキーに挑戦。徐々に慣れていき、インストラクターの的確なご指導のおかげで多くの生徒は滑られるようになり、上手な生徒は一番高い場所からスイスイと滑るなど、全員がスキーを満喫することができました。また、夕方の講演会では、普通科は郡上市観光協会と市役所の方から、衛生看護科は帯同してくださった看護師の方から講話をいただき、今後の進路を検討するうえで非常に参考になる経験を積むことができましたと思います。この修学旅行で学んだ「思いやり」と「感謝」をこれからの人生に生かして欲しいと思います。

生徒の声

スキー研修1日目はなかなか上手く滑ることができず、悔しさを感じました。2日目は1日目よりも上手に滑れるようになりたいと思い、インストラクターの方にコツを聞いたり、上手に滑っていた友人にアドバイスをもらったりするなどして、なんとか上手に滑ることができるようになりました。できないことを恥ずかしながら1人で練習するよりも、羞恥心を捨て去り自分から率先的に助言をもらうなど、行動を起こすことが大切だと感じました。



この修学旅行で「こんな仕事もあるんだなあ」と何度も思いました。そのとき、もう一度自分の進路についてしっかり向き合ってみようと思いました。郡上市役所の方のお話を聞いたときも、他県の方が抱えている五島市の印象が想像していたものと違い、「そんな考え方もあるのか」と思いました。話を聞いたからこそ、もっと五島を大切にしようという気持ちになれました。



たくさん初めてのことがあって不安もありましたが、それ以上に本当に楽しいことばかりで良い思い出になりました。今回の修学旅行の思い出は全部宝石みたいにキラキラしていて、家に帰ってからはずっと修学旅行の話ばかりをしていました。幸せな時間でした。先生方にも両親にも旅行会社の人にも感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。



1学年芸術科発表会

12月17日（金）本校メモリアルホールにおいて、1年生の芸術科発表会を行いました。音楽選択者は合唱曲『心の瞳』を発表しました。短い期間でしたが、息の使い方や立つときの姿勢、強弱を意識しながら、ハーモニーを作る練習に取り組んできました。本番では緊張した様子でしたが、各クラスが等身大のパフォーマンスをすることができました。今回、初めて他クラスの前で演奏したり、他クラスの演奏を鑑賞したりする貴重な機会となり、各クラスが違う歌い方で、それぞれの音楽のよさを感じた演奏会になりました。これからも、音楽を通して、交流しながら楽しむことを続けていってほしいと思います。

美術選択者は、五島の魅力を切り絵で表現した作品を、メモリアルホール入口に展示しました。残念ながら完成に至らなかったものもありますが、一人一人が思い思いの五島の魅力を、根気強く心をこめて表現しました。作品制作あるいは鑑賞を通して、五島の魅力を改めて感じ、より愛着を持ってもらえればと思っています。

普段は交流のない音楽選択者と美術選択者ですが、今回の発表会で双方共に芸術的感性を磨き、今後の人生をより豊かなものにしてほしいと願っています。



大学入学共通テスト出陣式

3学年主任 原口 正志

大学入学共通テスト前日の1月14日（金）に、出陣式が本校の軽スポーツ場で行われました。出陣式では、校長先生から貴重なアドバイスをいただくことができました。生徒代表で決意表明をしてくれた3年4組の稲田征樹君は、共通テストに向けての士気を高める話をしてくれました。また、1月11日（火）の大学入学共通テスト激励式では1・2年生が折り鶴や激励のメッセージを準備してくれたことを、3年生はとても喜んでいました。テストの待機室となった軽スポーツ場に折り鶴を持ち込み、勇気をもらいました。感謝いたします。

テスト当日は、受験生全員がベストを尽くして戦うことができました。これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。これからも最後まで頑張ります。よろしくお願いいたします。



国公立大学個別学力試験に向けて

進路主任 本多 優子

大学入学共通テストが終わり、3年普通コースの生徒たちは特別編成授業が始まりました。2月25日からの国公立大学個別学力試験の前期日程、3月8日の中期日程、3月12日の後期日程、または私立大学の試験等に向けてそれぞれが全力を尽くしています。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くまで、五島高校に集う全員のを積み上げてほしいと願います。すでに進路が決まっている人も、全く違う道を歩もうとする人も、切磋琢磨し、本番では自信を持って臨めるようにしましょう。最後まで粘りきる力…それこそが五高生の強みです。

「本物になる」 頑張れ、五高生！



<各部活動報告>

【柔道部】（団体戦のみ）

令和3年度長崎県高等学校新人体育大会

男子団体の部 第3位

女子団体の部 準優勝

【放送部】

第5回全九州高等学校総合文化祭長崎大会 放送部門

第43回九州高校放送コンテスト長崎大会 入賞 水越 妃良

【新聞部】

令和3年度長崎県高等学校総合文化祭 新聞部門 優秀賞

